

どんな教師になりたいか
子どもに信頼され親御さんたちにも信頼される教師

教育原論 第10回 リアクション(6月16日) 教師について
(テキスト 第7章 p97-101)

1 前回のリアクションを読んだ感想

教師について

正義が通るワス

子どもたちとの関係をよく楽しく学んでくる

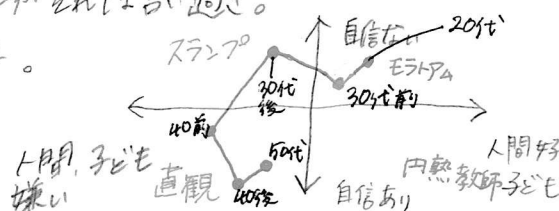
2 教師には、「教育技術」と「子どもへの思いやりや熱い思い」のどちらが必要か。(両方の場合は、教育技術(7/10)対(思いやり(3/10))、(向山参照)

例として 治療方法はあるがよくわからないけどがんばりますという医師に希望預けることはない。それは教師でも同じではないかと思うから、教育技術は非常に大事だと思う。

3 「教職症候群」を読んでどう思うか。教師にどのような資質や心構えが必要か。「子ども社会」のぬるま湯に浸り続けると書いてあったがそれは言い過ぎ。

教師は同僚、先輩から学ぼうとする意欲が必要。

このように言われないよう努力する



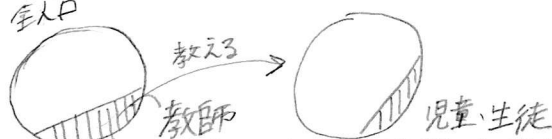
4 親方・徒弟関係(19世紀以前)のような関係は、現在の学校の教師・生徒関係に何か残っているか。現代の教師がそのような関係を再現するためには何をすればいいのか(宮沢康人「学校を糾弾する前に」参照)

何も残っていないと考える。親方・徒弟と学校の教師・生徒は対照的である。

5 高校教師の現況に関するデータから何が言えるか(教師と生徒の距離や教師の年齢にも注目して)(武内清「高校教師の特質」参照)

進学校
↑↓ 格差
普通校

部活動をしている人は部活動をしていない人より教師との距離感が近いと思う。全人口



教師とは
全然合点ない
生徒もいる

6 教師は「自己実現系ワーカホリック(働き過ぎ)」に陥る危険性はあるか。それはなぜか(本田由紀「軋む社会」参照)好きなことを仕事にする⇒自己実現系ワーカホリック 個性が強くなり働き過ぎることによって生じるから。

自由闊達な仕事 - 顧客への最大限の奉仕という気高い動機 自体が要因

7 チームとしての学校(テキストp97-98、以前配布プリント)は、教師の多能化をなくすることができるか。

他の人のコメント

() →
() →

どんな教師になりたいか
 ・子どもたちとの関係をよく
 ・全力であらぬに、正義が通るクラスをつくる
 ・生徒のことを第一考える

どんな医者になりたいか
 全力で看者のことを考えて、
 楽しく、関係がよくなる A

技術のすぐれた B

教師にも医者と同じように
 技術と、思いやりが必要。どちらか
 一つすぐれていてもだめ。

教育原論 第10回 リアクション(6月16日) 教師について
 (テキスト 第7章 p97-101)

防犯カメラを教室に
 つける件について

1 前回のリアクションを読んだ感想

人間が人間らしく
 生活できなくなるという
 考えもあるかもしれない
 いじめに関する事は誰でも一回は経験があると思う。それを踏まえて
 見ると、実際に行動にうつせるかが大切だと思った。

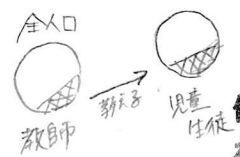
2 教師には、「教育技術」と「子どもへの思いやりや熱い思い」のどちらが必要か。
 (両方の場合は、教育技術(1/10)対(思いやり(1/10)、(向山参照)

時、いじめが何らか
 証拠はあるのかよ?って
 しらを切るのがぐちゃ
 かったから、場合によつて
 は、アリだと思う。
 両方必要だと思うけれど、子どもへの思いやりや、熱い思いがあれば、
 今のうちと教育技術は上がってくると思う。

3 「教職症候群」を読んでもう思うか。教師にどのような資質や心構えが必要か。

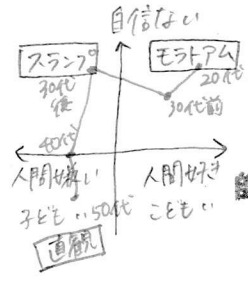
いろいろな事を理解して、受け入れる包容力。
 先生は時として一人孤独に戦わないといけないこともあると思う。

<教師について>



4 親方・徒弟関係(19世紀以前)のような関係は、現在の学校の教師・生徒関係に何か残っているか。現代の教師がそのような関係を再現するためには何をすればいいのか(宮沢康人「学校を糾弾する前に」参照)

子どもたちにまねをしてほしい姿を教師が見せる、新しく得た知識を子どもたちに伝える。
 子どもたちと一緒に学ぶ。
 まねぶ



5 高校教師の現況に関するデータから何が言えるか(教師と生徒の距離や教師の年齢にも注目して)(武内清「高校教師の特質」参照)

・学校格差
 ・教師と生徒の高校時代の違い
 先生が年をとる度に生徒との年齢差は広がっていくけれど、いつの時代も根本的なことは同じだと思う。

6 教師は「自己実現系ワーカホリック(働き過ぎ)」に陥る危険性はあるか。それはなぜか(本田由紀「軋む社会」参照)

・部活の顧問になると土、日に大会などがあるから、休みがなくなってしまう。
 ・自分で自分を働きすぎの方向へ追いつめてしまっている。(自己実現のため)

7 チームとしての学校(テキストp97-98、以前配布プリント)は、教師の多能化をなくすることができるか。

・働きすぎなどの問題から、もっと一人一人の先生が楽しく、常に新鮮な気持ちで、生徒と接することができる環境をつくる必要があると思う。

他の人のコメント 今としない学校も、連らくを密にとつていかないと、現状はあまりかわらないと思う。(先生どうし)

(木内美希) → 細かい所まで具体的に書かれていてわかりやすかった。
 (にしむつた) → きれいにまとめられていて素晴らしいと思った。